

平成29年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立東山東学校
作成日	平成30年3月9日

1 教育目標

生きる力をはぐくみ、心身ともに健やかで、明日の社会を築く豊かな創造性と実践力を持つ子どもの育成。

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	○全て単学級の学校なので、外部講師や外部団体の方、地域の方々を招いての取り組みは、評価できるものであり、目標も適切である。	○子ども達の心身を鍛えることは「ゆたかな心」の育成にも、重要であると考えられるため、学校の教育活動全体を通して行う事は、大変良い事である。	○基礎学力の定着は子ども達にとって、重要な事であるが、自分の考えを述べたり、文章化する表現力も重要であると考えられる。言語活動の充実を図ることも大切である。
取組の状況に対する意見	○学校として、様々な方に学校に来て頂き、いろいろな体験を子どもにさせるのは非常に良い事である。	○フッ化物洗口については、既に3年目を迎えているので、子ども達の「歯の健康」の状態を数値化したのも良いのではないかと。	○教員の授業力の向上は、子ども達の学力向上に直結すると考えられる。 ○子どもの学力の向上も大切ではあるが、体力の向上も重要である。
検証結果に対する意見	○今後も外部講師や地域の方々に来て頂き、子ども達に様々な体験をさせて欲しい。	○挨拶をする子どもとしない子どもが決まっているように感じられるが、さらに学校での指導が必要に思う。 ○児童アンケートで「学校が楽しい」と回答した児童がほとんど全員であることは非常に良い。	○保護者アンケート結果から「家庭学習」の習慣化がなされていないようだ。「家庭学習の手引き」をさらに活用した方が良いのではないかと。 ○子ども達に確かな学力をつけるためには、やはり、担任の指導力が重要である。
改善方法に向けての意見	○学校として、地域の方に来て頂いて、子ども達に様々な体験をさせるという取り組みだけでなく、学校が地域の方々を招いて何かをするという事等も取り入れてみるのも良いのではないかと。	○子ども達の心身の健全育成のために来年度も様々な活動や取り組みを積極的に行ってもらいたい。	○外国語活動で水曜日の5限を月に1~2回使うのであれば、残っている水曜日の5限を「学力補充」の時間として確保して、水曜日の授業を5限までとしてはどうか。

3 その他のご意見

○挨拶をする子どもとしない子どもがはっきりとしている。
○子どもの送迎について、以前と比べて車の数が減少してきている。
○通学路で朝が特に危険な場所については、既に育友会も何か所か立って子どもを見守っているが、その場所にも立ち、子どもの安全について協力をしたい。